The Hawaii Japanese School　　（2018年3月10日）

学　校　だ　よ　り　（４２）

事務所：947-3111　授業日：291-1591　http//www.hjschl.org　e-mail　info@hjschl.org

卒園・卒業・修了式　別れと出発の時

ご卒園・ご卒業そして学年修了おめでとうございます。

いよいよこの日を迎えます。過ぎてみれば あっという間の時間、振り返ればあの時このときたくさんの出会い出来事がありました。そうした補習校での積み重ねの集大成の日です。卒園・卒業生は、どのような心持ちでこの日を迎えるでしょうか。卒園・卒業にあたっての保護者の思いは格別なものがあると思います。大きく成長した我が子を誇らしく思う気持ち、また一つ保護者の手を必要としなくなる寂しさ、これまでの子育てに伴う葛藤や苦労が思い出されると思います。晴れの日の我が子をいつもにまして眺めていたいそんな気持ちではないでしょうか。



子どもにとっても、保護者にとっても記念すべき節目の日です。思い出深い一日してもらいたいと願っています

○離任のご挨拶



平成２９年度末で、下記の教員が本校を離れることになりました。

レインボー学園在職中は温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。保護者・児童・生徒の皆様方の益々のご健勝を祈念いたします。



（退職職員）

小低部　１年４組担任　　小中部　３年２組担任

小中部　３年３組担任　　中学部　２年１組担任

図書司書



校長の私の自身も、今年度で帰任いたします。園児・児童・生徒、保護者、理事会の皆様、本当にお世話になりました。　皆様のご健康とご活躍を心より願っております。

○校長より　「自分の花を咲かせてほしい」

いよいよ今年度の「学校だより」も最終号となりました。一年間、「学校だより」をお読みいただいてありがとうございます。

学校で咲いている花を眺めながら、子どもたちも自分の花を咲かせるために、一生懸命、レインボー学園でがんばってきたのだろうなと思いました。日本で流行した「世界で一つだけの花」という歌があります。その歌詞の一節に「小さい花や　大きな花　一つとして同じものはないから　ナンバーワンにならなくてもいい　もともと特別なオンリーワン」とあります。ナンバーワンにならなくていいから、自分らしさを大切にしようということだと思います。自分の目指す目標をもつことは、学習においても生活においても自分を成長させるためには必要なことだと思います。子どもたちの中には、やりたいことを我慢して休まずレインボー学園に通ってくる子どもたちがいます。友達に会えるから、一緒に日本語で話せるから、皆で休み時間に遊べるからという人もいるかもしれません。でも、遊ぶために貴重な時間を使うのでなく、先生や友達と家庭でやってきた宿題や学習を確かめ合い、深め合うことに喜びや楽しみを感じるようなレインボー学園でありたいと思います。

今日でレインボー学園を卒業する人、進学・進級してさらに学ぶ人、新しい活躍の場を求めて退学する人、いろいろな思いの詰まった今日です。一人一人ちがった花を咲かせ、新しい出会いの春を迎えてほしいと願います。保護者の皆様の温かいご理解と多大なご協力に感謝し、心より厚くお礼を申し上げます。